

感染症情報 3月26日～4月1日

府下小児科198医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	1025例(堺市	48例)
②溶連菌感染症	344例(堺市	30例)
③突発性発疹	87例(堺市	2例)
④RSウイルス感染症	70例(堺市	5例)
⑤みずぼうそう	69例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市28)から

インフルエンザ	580例(堺市	67例)
---------	---------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比2.1%増の1,709件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、突発性発疹、RSウイルス感染症、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より6%増、堺市では前週より24%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より10%減、堺市で前週21例→今回30例で43%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週比22%減、堺市で前週2例→今回5例であった。みずぼうそうは府下で前週より15%減、堺市では前週1例→今回0例であった。

インフルエンザは府下で前週962例→今回580例で40%減、堺市では前週93例→今回67例で28%減となった。定点当たりでは前週が3.1で、今回は1.9であった。

風疹の報告はなかったが、麻疹の報告が中河内ブロックで1例あった(海外渡航歴あり)。